



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 28

2010.2.3 (No.2579)

第2560地区ガバナー／植木 康之  
 会 長／菊池 涉  
 会長エレクト／樺山 仁(クラブ奉仕A)  
 副 会 長／山田 富義(クラブ奉仕B)  
 幹 事／松永 一義  
 S A A／成田 秀雄  
 会 計／石月 良典

例会日／毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpst.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

■本日の出席会員数:55名中32名  
 ■先々週出席率:78.43%

【ゲスト】

・骨髄バンク命のアサガオにいがた  
 高野由美子 様

【先週のメイクアップ】

【1.26】三條北RCへ

・五十嵐昭一さん、五十嵐浩さん、  
 ・藤田紘一さん、 田中 仁さん、  
 ・浅野金治さん、

【1.28】三條東RCへ

・中村和彦さん、 五十嵐晋三さん、  
 ・加藤紋次郎さん、田中 仁さん、

【2.1】三條南RCへ

・斎藤弘文さん

【2.2】三條北RCへ

・小越憲泰さん



「ロータリーの未来は、  
 あなたの手の中に」

2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

季節のお花(梅)



会 長 挨拶

菊池 涉 会長

たのモの中



ご挨拶申し上げます。

今日は節分です。本日の例会は本成寺の  
 豆まきで、大勢お休みのようです。毎月第  
 一例会日に開催いたしております理事会も、  
 出席者が少ないということで次週に延ば  
 させて頂きました。

明日は立春。立春とはいえ雪国の春はまだ先のことの  
 ようです。毎朝テレビの天気予報をみていると関東は毎日晴  
 れ、布団も干せるしゴルフもできる。新潟は毎日うっとうし  
 い空と雪。気温も随分違う。まったく割に合わないというか、  
 不公平だと思います。

しかしそれが現実です。娑婆世界には平等(おなじ)など  
 という事はないのですから。全て別々です。

人間には自分の努力や誠意では選べないものがあるのです。  
 私たち人間は誰一人、自ら望んで生まれてきた者はおりませ  
 ン。親も選べません。国も時代も選べません。男に生まれた  
 いと願って男に生まれてきた者もおりません。

生まれてみたら、男でこの顔でこの才覚、この時代のこの  
 国にこの人を親として生まれていたので。その現実を否応  
 なしに引き受けなければならない。

苦難な事実を乗り越えて、自らの欠点やハンディーキャ  
 ップを逆手に成功した人もいます。反対に、どれだけ多  
 くの才能が、悪条件の元むなしく埋もれ失われていったこと  
 やら知れません。それも現実です。

この現実から目をそらして生きてはいけないのです。その現実が、どんなにイヤでも、私なのですから。その現実抜きに私はないのです。

人生は不条理です。それを仏教では「苦」と教えています。その不条理をそのまま引き受けよと教えています。しかし私たちはその教えに反している。勝手な願いを抱く。災害もごめんだ。不景気も飛んでいけ。病気もケンカも願い下げと、まさに「鬼は外福は内」と口々に唱え豆を鬼にぶつけるわけです。

人間に生まれた以上、老いる、病む、ケンカもする、貧乏にもなる。そして最後には「死ぬ」。なのに私たちはその現実をなかなか引き受けられない。

全てを引き受けて、「これがオレだ」と立ちあがることを「サトリ」というのでしょうか。

自分の都合の善いものは来て欲しい。都合の悪いものは出て行って欲しい。これは仏教ではありません。だから私は意地でも節分に豆まきはしません。孫にせがまれて万一豆をまく時は「鬼も内、福も内」でしょう。

今日は川の向こうの大きなお寺ばかり流行るので、少し悪口を申しました。

## ニコニコBOX

菊池 渉さん

寒い冬の節分になりました。毎日“ひま”なので、暖かな部屋でポ〜ットしています。

佐野勝榮さん

またもや雪が降りました。ついこの間迄晴天で、ようやく春の到来を感じたのに…あまくないですね、やっぱり雪国なのです。

成田秀雄さん

週報に写真を提供させていただきました。上海動物園のトラです。掲載ありがとうございます。

野崎喜一郎さん

本成寺の福豆をいただきました。私の所に福が来そうです。

川瀬康裕さん

都合により早退させていただきます。

渋谷健一さん、高橋 司さん、平原信行さん、杉山幸英さん、松永一義さん、若槻八十彦さん、伊藤寛一さん、歸山 肇さん、会田二郎さん、明田川賢一さん、丸山行彦さん、五十嵐昭一さん、山田富義さん

高野由美子様、本日は卓話ありがとうございます。

2月3日分 ￥20,000  
今年度累計 ￥730,500

## 幹事報告

### 松永一義 幹事

◎2010-11年度版ロータリー手帳の購入希望者を回覧致しますので、ご希望の方は○印をお願い致します。なお、経費は会で負担致します。

◎2月17日(水)は、例会場(信金本店)が使用できないため、ハミングプラザVIPに変更となります。お間違えないよう、お願い致します。

## 卓 話

### 「骨髄バンク命のアサガオにいがた」

よたのちの中

高野 由美子 様



私は、息子を「急性リンパ性白血病」で失いました。平成16年、息子 敏行が高校3年、18歳の時に白血病と診断され、治療を受けました。翌年、平成17年6月に再発し、延べ10ヶ月の闘病生活でした。

私は、自分の息子は何事もなく、すくすくと元気に育つのが当たり前、病気とは無関係だと思っていました。白血病で骨髄移植までまじまじと言われた時、「えっ!何で私の息子なの?!」って、本当に信じられませんでした。

その後、骨髄移植の検査をしましたが、家族は誰も白血球の型が適合しませんでした。しかし、骨髄バンクで調べたら、69人適合する人が見つかりました。これで、敏行は生きられると「ホッ」としたのを覚えています。

毎年、6千人も血液疾患になってしまう患者さんがいます。そのうちの2千人が、骨髄提供を待っています。ドナー登録が33万人を越えると、9割の患者さんにドナーさんが見つかると言われてはいますが、この内、提供をしてもらえるのは、6割の患者さんです。

4割の患者さんは、見つかっても移植にこぎつけていません。

その原因は、ドナーさんは3泊4日の入院が必要ですが、会社を休めない、家族が反対、薬を飲んでいる…そのようなことが主な理由です。

闘病中の息子を一番苦しめたのは、重度の口内炎でした。口の中、ほとんどが真っ白くなって、えぐれていました。想像を絶する痛みだったと思います。1ヶ月以上も何も食べられなくて、ウイダーインゼリーだけで、過ごしたことがありました。それも、痛い、痛いと感じながら一気に飲んでいました。

いつも「焼肉が食べてえー!」って、言っていました。

早朝に息子からメールが来て、折り返し電話したら、小さな元気のない声で「口から出血して止まらない…。すぐに、病院にかけつけました。鼻血を止める為、鼻にガーゼが詰まって、口呼吸になっていました。その口も渴いて、口内炎がパリンと切れていました。

また、こんなこともありました。薬のせいで、意識がモウロウとしているのに起き上がっていて、体が傾いているのを必死に起こそうとしていて、片手でカーゼを口の中に入れて、出血を押さえていて、もう片

手では、携帯電話を握っていました。私は、その電話を敏行から取って、涙をこらえながらついていた血を拭きました。所々固まっていたのを見たら、胸がつぶれる思いでした。

道中何度も「早く来て!」「マジ、きつい」「もう、疲れた」とメールが来て、携帯電話を持って、私が来るのを待っていたかと思ったら、切なかったです。

私がついてすぐに外来にかかったのですが、その時に敏行の様子が変わり、全然反応がなくて、大量出血によるショック状態でした。

亡くなる前は、主治医から再発と言われて、お父さんが先生に「連れて帰っていいですか?」って聞いたたら、普通は絶対ダメなのに ちょっと考えて「じゃ、外出してきますか」と、言ってくださいました。

その時 敏行に「今日、家に帰って来てもいいって!」って言ったら「え〜、なんで〜?なんで帰っていい?」難儀かったらいいんだよ」って、言ったら「帰る帰る!!」って、とっても嬉しそうでした。

車の中でメールをして友達を誘っていました。本当に嬉しそうでした。

家に着いてすぐに友達が5人集まってくれて、一緒にご飯を食べたのですが、敏行は、スパゲッティー1,2本、シチュー1口、ピザ1口しか、食べられませんでした。この日は、消灯までに病院に戻って、点滴をつなげていつもの病院生活に戻りました。

しかし、次の日の朝9時頃、容態が急変しました。最期の時、呼吸が変わってきて、あわてて抱きかかえたんです。その抱えられている腕の中で「俺、マジ ダメかもしんねー」って、言ったんですよ。その言葉を聞いて、本当にビックリして「敏行、家に帰るんだよ!皆が待っているんだよ!」って、必死に叫んでいました。

自分が死んでしまうかも知れない恐怖と、その言葉を言わせるってことは身体がどんなだったのか……皆さん、想像してみてください。

「俺、マジ ダメかもしんねー」私は、お母さん、もういいよね。こんなに頑張ったけどいいよねって、言っているように思いました。

私は、全ての患者さんに生きる希望を持ってもらいたい。助かることのできる命を助けてあげたい。そんな思いで、骨髄バンクの大切さを訴えていきたいと思っています。

みなさんの企業でも、こういった説明会ができたら嬉しく思います。

骨髄バンク命のアサガオにいがたでは、皆様のご入会を心よりお待ちしております。活動の為の募金も併せてお願いいたします。



# 骨髄バンク命のアサガオにいがた

日本骨髄バンクは1991年に誕生し、2008年には、ドナー登録数30万人に達しました。  
しかし、骨髄移植を希望する患者さんの9割にドナーは見つかりませんが、移植に至るのは約6割です。

私たちは全ての患者さんが、骨髄移植ができるように活動をしています。

## ドナー登録会・献血並行ドナー登録会

新潟県主催で行う、県内の大型スーパーやイベント会場などでのドナー登録会や、献血車のある場所で行う献血並行ドナー登録会にて、説明やチラシ配り等のお手伝いをしています。



(ドナー登録は、血液を2cc採血して登録完了します。)

## ドナー登録の説明会

イベント会場など、人が大勢集まる場所でドナー登録の説明会を行っています。



(ドナー登録の書類にご記入後、保健所または献血ルームへ行き、血液を2cc採血して登録完了します。)

## 骨髄バンク草の根語りべ派遣

小・中・高・大・専門・看護などの各学校、企業・団体に語りべを派遣して骨髄バンクへの理解や命の大切さについて講演しています。

(経費については、骨髄移植推進財団が負担します。)



## 命のアサガオ活動

全国や新潟県内の小学校・幼稚園、イベント会場などにアサガオの種を配り、映画・歌・本などで骨髄バンクをPRしています。



## 患者・家族への支援活動

患者さんや患者ご家族への情報提供やサポートを行っています。

## 骨髄バンク支援音楽隊&バルーンアート

イベント会場など、人が大勢集まる場所で、音楽ライブ演奏やバルーンアートで骨髄バンクをPRしています。



一緒に活動できる支援音楽隊のボランティアスタッフ募集中!

## 講演会・パネル展示会などの開催

骨髄バンクの必要性などについての講演会や、パネル展示会などを開催したり、著書やCD、手作り品の販売も行っています。

骨髄バンク命のアサガオにいがたでは、皆様のご入会を心からお待ちしております。

## <年会費>

正会員		賛助会員	
個人一口	2,000 円	個人一口	2,000 円
団体一口	10,000 円	団体一口	10,000 円
ボランティア活動を一緒にして下さる方。		資金面で支えて下さる方。会報をお送りします。	

## <振込先>

郵便振替口座 00570-5-60728  
加入者名 骨髄バンク命のアサガオにいがた

## [ 当会に関するご質問・お問い合わせ先 ]

〒959-2654 新潟県胎内市本郷町1-4  
TEL : 025444-8010  
FAX :  
E-Mail : iangetekko@live.jp  
URL : http://www.xyjico.jp/asagao/



## [ 骨髄バンクに関するご質問・お問い合わせ先 ]

(財)骨髄移植推進財団  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7F  
TEL 0120-445-445  
URL : http://www.jmdp.or.jp/

次週例会 2月17日 外部卓話 川柳作家 鈴木俊日出 様  
「川柳のすずめ」  
於：ハミングプラザVIP

次々週例会 2月24日 新年例会 PM 6:30～  
於：出雲崎 みよや

